

図画工作

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
9	開隆堂出版	開隆堂◆	図工 101・102	A4 112	平成31年
116	日本文教出版	日 文◆	図工 103・104	A4 130	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	開隆堂・日文

2 東京都立立川国際中等教育学校附属小学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「次代を担う児童・生徒一人一人の資質や能力を最大限に伸ばさせるとともに、豊かな国際感覚を養い、世界で活躍し貢献できる人間を育成する。」という教育理念を踏まえ、小学校から中等教育学校までの12年間を一体として捉え、児童・生徒の発達等に応じて柔軟な教育課程を編成する。

【図画工作における学習指導の展開】

- (1) 物事を色や形などの視点で捉えることを、見たり触ったり、動かしたりするなど体験的に理解し、材料や用具を使って、創造的につくったり表したりすることができるように指導する。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、表現や鑑賞、言語活動などを通して創造的に発想や構想をしたり、情操が豊かになるように指導する。
- (3) 楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を育む。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 協働的な活動を扱っている箇所数	都立小中高一貫教育校教育内容等検討委員会報告書 第2章 令和3年度都立小中高一貫教育校教育課程に係る基本方針	個
b 日本の作品や文化を扱っている箇所数	同上	個
c 諸外国の作品や文化を扱っている箇所数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 協働的な活動を通して、自分にはない発想や構想を学び、多角的なものの見方を養うとともに、様々な表現方法があることに気付き、互いを認め、表現力や鑑賞力を高め合う学習に取り組ませる必要があるため、協働的な活動を扱っている箇所数を調査する。
- b 日本の伝統・文化を理解し尊重するとともに、多様な価値観を受容し、主体的に国際社会に参画する力を育てる必要があるため、日本の作品や文化を扱っている箇所数を調査する。
- c 日本の伝統・文化を理解し尊重するとともに、多様な価値観を受容し、主体的に国際社会に参画する力を育てる必要があるため、諸外国の作品や文化を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 図画工作

	発行者の番号 略 称	9 開隆堂	116 日 文
内 容	a 協働的な活動を扱っている箇所数	44	69
	b 日本の作品や文化を扱っている箇所数	12	4
	c 諸外国の作品や文化を扱っている箇所数	6	6

